



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	株式会社アマダホールディングス富士宮事業所モジュール工場新築工事	BEE	1.8	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8	/5		ふつう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5		ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.0	/5		よい		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0	/5		ふつう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点	3.8	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①断熱材を強化し、外皮性能を向上。 ④外壁仕上げ「断熱サンドイッチパネル」の補修必要間隔30年。 ④給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤敷地内の既存樹木を保存し、生物環境の保全に配慮。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦断熱材の強化、Low-E複層ガラスの採用など、建物の熱負荷抑制に配慮。 ⑧トップライト、ハイサイドライトによる自然採光の利用。 ⑨LED照明の採用。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水コマ、自動水栓、省水型機器を主要水栓の過半に採用。 ⑫リサイクル資材を3品目採用。 ⑫フリーアクセスフロアの採用。 ⑬ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭運用時のLCCO2排出量を低減。 ⑮アマダステータにより風環境を把握。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 3 3.2 ⑥ LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 2 2.2 ⑭ ⑮	② 外皮性能 ③ 昼光利用設備 ④ 昼光制御 ⑤ 躯体材料の耐用年数 ⑥ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑦ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑧ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑨ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑩ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑪ 生物環境の保全と創出 ⑫ 敷地内温熱環境の向上 ⑬ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑭ 自然エネルギー利用 ⑮ 設備システムの高効率化 ⑯ モニタリング ⑰ 運用管理体制 ⑱ 節水 ⑲ 雨水利用システム導入の有無 ⑳ 雑排水等利用システム導入の有無 ㉑ 材料使用量の削減 ㉒ 既存建築躯体等の継続使用 ㉓ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ㉔ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ㉕ 持続可能な森林から産出された木材 ㉖ 部材の再利用可能性向上への取組み ㉗ 有害物質を含まない材料の使用 ㉘ 消火剤 ㉙ 断熱材 ㉚ 冷媒 ㉛ 地球温暖化への配慮 ㉜ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)			
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰通信手段の多様化、地下空間への設置回避、無停電装置の計画。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑱ 耐震性 ⑲ 免震・制振性能 ⑲ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備	
		"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑲壁長さ比率を小さくすることにより空間のゆとりに配慮。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑建物利用者の設計プロセスへの参加。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑲	㉒ ユニバーサルデザイン計画 ㉒ 階高のゆとり ㉒ 空間の形状・自由さ ㉒ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑵まちなみ・景観への配慮/⑵敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑵敷地内の既存樹木を保存し、生物環境の保全に配慮。 ■敷地外環境対策 (⑵温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑵隣棟間隔指標Rwを0.5以上とし、風の回復に配慮。 	Q-3 1 2 3 3.2 LR-3 2 2.2 ⑵	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑵ まちなみ景観への配慮 ⑵ 敷地内温熱環境の向上 ⑵ 温熱環境悪化の改善		